

消費者と提携し地域農業を守る

# 下郷農協



2017

9 No. 673

September



大自然を満喫

麦部会が消費者とそうめん流しで交流

# 第3次安倍第3次改造内閣発足

## 疑惑の大臣交代で『疑惑にはふた』

代表理事組合長 矢崎 和廣



### 支持率アップのための

#### 安倍改造内閣

安倍首相は八月三日、第三次安倍第三次内閣を発足しました。

「森友学園」や「加計学園」問題、PKO部隊の「日報」隠蔽問題など、次から次へと出てくる疑惑による支持率急落に追い込まれた中での内閣改造です。

安倍首相は、挙党体制をアピールするために閣僚経験者を厚く起用する反面、首相とともに疑惑の渦中にある松野文部科学相、山本地方創生相、そして稲田防衛大臣など疑惑に関わっていた閣僚の多くが交代しています。

まさに疑惑の渦中にいる大臣

を交代させ、このまま疑惑にはふたをして支持率アップを狙うもので、「反省」をして心機一転というものでは決してありません。

内閣改造で一時的には支持率低下に歯止めがかり、若干支持率はアップしましたが、疑惑の中心であったのは安倍首相だったことを国民は思い出してほしいと思います。

### 安倍内閣は総辞職して

#### 解散・総選挙を

改造内閣発足後の支持率は若干アップしましたが、支持率が急落した大きな原因は首相自身であることを忘れてはならないと思います。

特に「森友学園」問題では妻の昭恵夫人も関与が疑われ、「加計学園」問題では首相そのものが疑われている訳です。

また、安保法制や共謀罪の強行採決など安倍内閣暴走を推し進めてきたのも首相自身です。

そんな安倍首相を国民の多くが信頼できなくなったことが支持率の低下となった訳で、安倍内閣は総辞職して、解散・総選挙で国民に信を問う事が重要だと思います。

### まずは国民が主人公の政治を

七月五日の九州北部水害、秋田の水害、八月六日～七日の台風五号被害など、今年も全国各地で天候による被害が発生しています。そして被害も尋常ではない状況であり、短期間に復旧するようなものではありません。

私も生協とのつながりの中で福岡県の朝倉市杷木や東峰村の支援活動に参加しましたが、被害は想像以上に激しく、被害家屋へ行くまで道路がどこか分からないほど土砂に埋まっており、重機で何とか通れるようにはしていません。家は全壊してなければ全て一階の半分くらいまで土砂が溜まっており、掻き出しは人の力に頼るしかない状況でした。

言葉にならない状況に「政府にはまずは行き届いた支援」と思わずにはいられませんでした。

やらなければならぬ事は多いと思いますが、まずは国民目線で国の責任としてやってほし

いものです。

### 農政改革を断行

農林水産大臣には斎藤副大臣が昇格しました。

安倍政権が進めてきた農政改革が実行段階に入るために継続性を重視したものです。

引き続き、TPP、EPAなど安倍首相は経済優先を掲げ、農政改革を断行する方針を示しました。

### 農業、農協潰しに屈せず

農政改革を断行するのとあわせ、農協改革もこれまで以上に進められて行くものと考えられます。安倍首相が掲げる「世界で一番企業が活動しやすい国を作る」アベノミクスの下、いよいよ農協合併、家族農業を無くし大規模経営農業が推進されると思われま

す。JAグループは農協本来の役割、家族農業が果たす役割をしっかりと認識し、組合員が主人公の農協経営を基本に据えなければこの流れに立ち向かっていく事も困難となるでしょう。

下郷農協は、農業、農協潰しの政府に屈せず、しっかりと組合員、消費者とつながって今後も頑張る参ります。

グランドチャンピオンに輝く!!

# 脇坂牧場 「雅2817号」

八月一日、全農県北市場で第六回県北地域畜産品評会が開催されました。下郷農協管内からは和牛生産組合員七名の八頭が出品され、第一区から第四区の審査で、第二区より出品された脇坂牧場の雅二八一七号が品評会最高賞のグランドチャンピオンに輝き、十月に別府市で行われる大分県畜産共進会に出場が

決定しました。

下郷農協の組合員関係では、今まで何度となく上位には選ばれてきましたが、チャンピオンは初めてなので大変光栄な快挙となりました。

今から飼養管理や調教・手入れを行い大分県畜産共進会に向け良い成績を残せる様に頑張ってもらいたいと思います。

(田坂)



▶県畜産共進会出場の「雅二八一七号」と脇坂牧場の(写真左から)脇坂雅人さんと公章さん

## もしもの時の「命を守る」

### 下郷農協女性部が防災教室

七月十五日(土)下郷農協女性部は共同購入と併せて、講師に中津市議で防災士の資格を持つ三上英範さんを迎えて「防災教室」を開きました。豪雨災害の直後ということもあって、参加者は熱心に聞き入り、防災意識の大切さを再確認しました。

三上さんより、七月五日〜六日にかけて起きた豪雨による下郷地区・山国地区の被害状況がスライドの映写を通じて詳しく説明され、下郷地区でも川の氾濫により田畑が土砂に埋まり、農産物の被害や家屋の床上浸水などの被害が出ていることを知りました。

三上さんは「このようないつ起るかわからない自然災害にどう備えるのか、それにはまず自分の暮らす地域の危険箇所状況を把握しておくことが一番大事」と話されました。さらに、「全戸に配られているはず」としながらも中津市役所が発行している「防災マップ」(ハザードマップ)を参加者に配り、災

害時には自分やまわりの人の「命を守る」。「自助」をもとに、行政等が対応する「公助」の相乗効果の必要性も強調されていました。また、災害救助法が適応されると、二年間の家賃等が保障されるということも話されました。

これからも、いっどこで災害が起きてもおかしくない中で「日頃から自分の住む地域の状況や身のまわりの危険な箇所をしっかりと把握し、災害に備えることが大切」ということを確認することができた防災教室でした。



防災意識の大切さを学ぶ女性部員

# 『厳しい事業実績のなか、引き続き生産・販売強化めざす』 農協運営に対して組合員から積極的意見

七月二十五日・二十六日、各地区で今年度最初の一斉集落常会が、組合員九十六名（昨年同期九十九名）の出席で開催されました。

常会では農協から、第1四半期決算概要についての報告・説明と、各部署からのお知らせを行い、組合員から五十七件（昨年八十四件）の貴重な意見・要望が出されました。

今回は、信用事業譲渡後二年が経過し、産直を中心とした経済事業の取り組み結果を通常総会でご報告した直後の集落常会でもあり、十カ年計画の三年目

に入り三ヶ月間の事業実績の見込み概要などを中心に説明しました。

組合員からは、特に結びつきの強い指導販売部門や購買部門をはじめ、第六十一回農協まつりの取り組みなど、多岐にわたる積極的な意見・要望が出されました。

本稿ではこれらを中心に、組合員から出された意見・要望とその回答の一部を紹介します。個別に回答の必要な事案については、別途担当者より対応させて頂きます。

## 【管理・総務部について】

・ 昨年の農協まつりについて、昔の農協の写真展示はとてもよかったです。以前勤めていた人が懐かしく思い良かったです。

↓ 昨年は節目の六十回開催とい

う事で、プロジェクト検討委員会や実行委員会で検討を重ね、歴史を振り返る意味も含め、写真展示のコーナーを企画しました。

・ 昨年の農協祭は抽選会があつ

たので最後まで人が多く残っていた。最後まで残ってもらえるような取り組みがあったら良いが。

↓ 地域の方々の舞台出演をはじめ、六十回記念の大抽選会や大道芸など、様々なプログラム企画で楽しんでもらいました。これからも生産者と消費者、そして地域の方々が集う祭りとなるよう、取り組みを進めます。

・ 農協事業運営は大変でしょうが、現状のまま頑張っていたきたい。

↓ 農業・農協を巡る状況は一層厳しくなりますが、農協事業の展望を示しながら、役員一丸となって課題を一つずつクリアし、難局を乗り越えられるよう頑張りたいと思います。

・ 農協が金融を持たなくなると、回転資金はどうなっているか。

↓ 信用事業譲渡に伴い、農協事業の運転資金は産直等の経済事業を中心とした利益等を充てています。また、一定枠を

信連から低利で借入れ運転資金に充てられるよう譲渡時に協議しています。

## 【購買部について】

・ 肉や牛乳などを扱う購買が地域にあるのは大変ありがたい。

↓ 今年度の事業方針に掲げた「組合員・消費者、地域に必要とされる農協を目指して」引き続き、各事業運営に取り組みます。

・ 購買の売り出しの回数を増やしてほしい。特に肉の安売りがあると助かります。

↓ 毎月第四土曜日のポイント二倍セールや盆・正月前の大売出しのほか、毎週月曜日の牛乳、水曜日の豆腐特売日を設けていますが、さらに組合員や地域の方々に利用いただける様、検討していきたいと思

## 【指導・販売部について】

・ 豪雨でナス・キャベツ・ピーマンなどだめになったが、里

芋は大丈夫だった。野菜の出荷は売り先が安定しないと農家は大変である。

↓需給バランスに気を付けながら、業務を進めてまいります。  
・畜産担当者については心配していたが、経験者が担当になったことで問題なく進んでいるようです。

↓組合員の営農に支障を来さない様、引き続き営農指導業務にあたってまいります。  
・組合員の高齢化が進み生産物を作れなくなつた。農協が生産に力をいれたらどうか。



上の原・親和集落の常会の様子

↓現在は重点課題として生産者を確保する事について取り組んでいます。農協が直接生産に携わることについては、今のところ具体的な検討には至っておりません。

・水耕栽培もあるが、農協は無農薬で土から栽培している。もつと宣伝アピールした方が良い。

↓農協ホームページやイベント・交流会を通じてアピールするようにいたします。

・無農薬米が不足するなら買取価格を上げるなど検討が必要では？どのくらいの買取価格なら作ってもらえるか生産組合員に聞いてみてはどうか。  
↓調査したいと思います。

### 【その他の部活動】

・黒豚の出荷が少ないのは困つたもの。牛は高騰しているので繁殖農家は良いが、肉の価格が高くなつているため利用が少なくなつてきているのでは。

↓黒豚については新規の生産者

を募り増産を目指しています。が、難航しているのが現状です。牛肉については、素牛価格の高騰で生産価格、販売価格がともに上昇しています。人気部位は品薄状態もありますが、適正在庫でバランスの取れた販売促進に努めます。

・ギフト商品代金の支払をコンビニでする方法はありませんか。

↓クレジット関連業者に申し込めば取扱いは可能ですが、利用金額等により各種手数料が発生するため、手数料負担をどのようにするか含め検討します。

・農協新聞に無農薬野菜を使用した料理のレシピを記載したかどうか。

↓以前数回、産直消費者の方などが考えられた、下郷農協の食材を使った料理レシピを紹介するコーナーを掲載しましたので、また機会を見て紹介したいと思います。

## 中津市農業委員・推進委員

### 下郷農協正組合員

#### 二名選ばれる

下郷農協推薦の玉麻農夫男さんが、六月の中津市議会で中津市農業委員会委員に承認されました。

また、七月二十日の中津市農業委員会初総会において、認定農業者の会が推薦していた鷹崎満行さんが、中津市農地利用最適化推進委員に委嘱されました。玉麻さん、鷹崎さんは共に下郷農協の正組合員で、これから平成三十二年七月まで、農地法に基づく所有権移転等に関する認可業務や農地等の利用最適化（担い手への農地利用集積・集約化、耕作放棄地の発生防止等）の推進業務など、地域農業の振興に頑張って頂きたいと思っております。



農業委員の玉麻さん(右)と推進委員の鷹崎さん

## そうめん流しや河川プール楽しむ

### 自然食の会が産地見学

七月二十三日(日)に自然食の会の会員さんが産地見学に来られました。毎年七月に産地見学を行っています。今年初めて麦部会が主催している『そうめん流し』に参加していただきました。

メインは「そうめん流し」ですが、それ以外にも冠地鶏の唐揚げやサラダ、耶馬溪の強力粉で作ったパンなど食べるものも沢山あり、別料金で焼肉セットやソフトクリーム、生ビールなども用意されています。参加された会員さんは『こんなに



野菜生産者の説明を聞く会員さん

食べるものがあるとは思わなかった。お腹いっぱいになった。』『景色もいいし、楽しかった。』など大変好評でした。昼食後は野菜圃場見学を野菜組合長の鷹崎満行さんの畑で行いました。鷹崎さんの畑は七月五日の水害で被害に遭い、川沿いの畑は全て流れてしまいました。今回見学させていただいた畑も水が来ましたがトマトなどは流されずに残りました。鷹崎さんには水害の事や現在の状況、新たな作付など説明をしていただきました。また、お土産としてミニトマトが配られ皆さん大変喜んでいました。ありがとうございました。

その後は子供も多く参加していただきましたので、津民の河川プールに行き涼みました。野菜農家の梅木敏子さんよりスイカをいただきました。中身が詰まっていた美味しいと好評でした。最後にふれあいの店でお買い物をしていただき帰路につかれました。

(立花)

## こんにちは！デイケア元気村です

デイケア元気村では、各個人の状態を調べて適切な治療方法、目標を設定し、理学療法(病気・ケガ・寝たきりなど)によって身体が不自由になった方に身体と心の両面から機能回復維持をはかる医療の一つ)のリハビリを、専門の理学療法士によって行います。

今回理学療法士でヨガインストラクターの資格を持つ山国町出身の井上直子(顔写真)が新たに、スタッフとして勤務することになりました。

利用者の皆様や地域の方々の健康づくりのサポートを致します。

まだまだ暑い日が続いています。



す。

食中毒や熱中症など体調をくずさないよう、体に気をつけてお過ごしください。

#### 【9月の体験利用日のお知らせ】

- ・ 9月27日(水) 10時~16時  
(1日でも数時間でも可。別日でも相談に応じます。)
- ・ 料金...昼食代411円のみ  
\*1週間前までに予約をお願い致します。

送迎もできますので、予約の際にお知らせ下さい。



お問い合わせなど、お気軽にご連絡ください。  
デイケア元気村

56-2385

## 恒例のサマーキャンプ ルナ幼稚園児が下郷の夏を満喫

八月四～五日、大分市明野南にある学校法人ルナ幼稚園（西村麻耶園長）園児が、給食食材産地の一つ下郷を訪れて、食育の一環としてサマーキャンプを行いました。

テントが設営された鎌城公民館グラウンドに到着した園児たちは、手作り弁当を食べた後、乳牛・黒豚見学やゴボウ掘り体験に出発、最後は牛乳工場でソフトクリームを満面の笑顔で食べていました。



夜はドラム缶風呂やキャンプファイヤー、翌早朝には乳しほり体験やカブトムシ獲りを体験、たくさんのおいしい思い出を作りました。

(f)

## 生協生産者の呼びかけに応え 豪雨災害の復旧支援ボランティアに参加

グリーンコープ青果生産者の会は、七月五日の九州北部豪雨で被災された方々の復旧を支援しようと、加盟する各生産者団



生協職員らと復旧作業に参加

体に呼び掛けて支援活動を続けています。

復旧支援は同生協の各県支部から派遣された職員に合流する形で取り組まれ、被災地の復旧作業にあたっています。

下郷農協も生産者や役員が五年前の被災復旧支援の恩返しに参加、生協職員と一緒にスコップを手に土砂の撤去作業を行いました。

(f)

## 大自然の中でそうめん流し

七月二十三日、県内外から多くの家族連れが参加し、鎌城台地の麦畑でそうめん流しを開きました。今年で四回目となるそうめん流しは、地元

の有志で組織する麦部会が化学合成農薬・化学肥料を一切使わず丹精込めて栽培した小麦でそうめんをつくり、大自然の中、大地の恵みに感謝しながら消費者との交流を行いました。

## 麦部会と消費者が交流

そうめん流しは同部会メンバーが竹を切り出してつなぎ、全長六十メートルになります。そうめんの他にも、下郷農協の食材を使った焼肉コーナーや耶馬溪牛乳で作ったソフトクリームを自分で巻いて食べるコーナー、地元新鮮野菜のサラダコーナーを設け長蛇の列ができるなど、会場は約二〇〇人の参加者でにぎわいを見せました。

「今年で六回目の収穫でした。播種・除草作業は適期に行い、気候による病害虫発生や鳥獣被害の対策もうまくできました。後半は雨が少なく、収穫時期が早まり少し刈り遅れとなり、収穫量は例年並みの六トンにとどまりました。今年には特別に幼児の子ども連れの家族の参加が多く、若い世代に「食」の安全が伝わっていると感じました。今後は、多くの人に準備から参加してもらい、みんなで楽しめるイベントにしたい」と話していました。

昨年にも続き参加した消費者は「今年も楽しみに来ました。子どもと一緒に美味しく頂きました」と話していました。



伊福から下郷の歴史を探る

その二

「伊福」または「伊福部」、さらに「伊福吉部」「五(伍)木部」「廬城部」という名は西日本に多いものの全国に二十カ所以上はあり、読み方はイオキベ・イフキベ・イフクベ・イホキベなどである。

『日本古代氏族辞典』（佐伯有清編・一九九四年発行）は、「大化前代の部民の一つ。東は



伊福の岩山は所々で違う表情を見せる

陸奥・武蔵から西は薩摩にまで及んで広く分布し、美濃を中心とした地域と中国地方に濃密であることを特徴とし、宮城十二門の門号にもその名を残す」としている。

「大化前代」とは、大化の改新が西暦六四六年（飛鳥時代）

であって、それ以前ということである。次に「部民」（ぶみん・べみん）とは、ヤマト王権に服属する官人・人民の総称とされる。

民俗学の谷川健一氏は「伊福・伊福部」に関心が深かったであろう。その著書の中で度々述べている。例えば『私の民俗学』（一九八七年発行）は次の通りである。（岐阜県の息吹山）

伊吹山と伊富岐神社と銅鐸どうたつについては、伊富岐神社と伊福部の関係からお話し致します。

この伊富岐神社というのは古代の伊福部氏を祀っている神社です。『和名抄』という平安時代の地誌を開いてみますと、伊福郷という郷が六つ記されておりますが、そのうち四つから銅鐸が出ております。

そこで私の妄想が、ある程度現実味をおびてきたように思い始めたのです。

この伊福という言葉ですが、伊福の伊というのは、発語のアイであって、考えなくても良いだろうと思います。そうしますと福が問題になります。福というのは「フク」です。風がフクのフク、伊吹山のフクであるわけですね。銅や鉄を精錬することを、古代ではフクと言っております。



伊福の溪谷は紅葉が似合う

伊福部の性格については諸説あるが、谷川氏は「古代の金属加工生産に従事した部民」としている。また、谷川氏に限らず、伊福部が製鉄に関係する部民であるとする説は、前号で紹介した『豊前志』も含めて早くから指摘されている。

さて、下郷の伊福も古代氏族「伊福部」に所縁のある地名である可能性は高いと思われるが、金吉・伊福で製鉄の仕事ができるほど鉄がとれたであろうか。

なお、筆者は先述した「伊福吉部」が気になってしかたがない。「吉」が金吉の吉であれば、金（鉄）を扱う伊福吉部氏であって、「金吉の伊福」という地名が実に信ぴょう性を増してくるのではないか。



# 第61回 下郷農協まつり

と き：2017年11月12日(日曜日)〔雨天決行〕  
10時開会

ところ：下郷小学校グラウンド(下郷農協本所隣)

◎出店・ステージでの出演者募集中!

お問合せ：まつり実行委員会事務局  
(下郷農協 管理部まで TEL0979-56-2222)



(昨年の農協まつり)

## 人事異動

### 【退職】

七月十三日付けで、今永直美(牛乳加工部)が、一身上の都合により退職しました。

## 「下郷診療所」

### 休診のお知らせ

九月二日(土)、下郷診療所は、医師不在により休診とさせていただきます。

ご迷惑をお掛けしますが、何卒よろしくお願い致します。

## 「ふれあいの店」

### 休業のお知らせ

十月一日(日)、購買部ふれあいの店は、決算棚卸のため休業とさせていただきます。  
ご迷惑をお掛けしますが、何卒よろしくお願い致します。



## 理事会だより

七月二十六日、第四回定例理事会を開催しましたので、議案および協議内容の一部概要をお知らせします。

報告事項…①第六十九回通常総会の開催結果について

②北部豪雨に伴う下郷管内の被害状況等について

③県常例検査の結果概要について

④その他

第一号議案…六月決算承認の件について

第二号議案…第六十一回下郷農協まつり開催について

第三号議案…二〇一六年度決算監事監査指摘事項の回答について

報告事項の北部豪雨に伴う下郷管内の被害状況等については、七月五日の豪雨被害として共済部で連絡を受けた建物更生共済等(七件)と、指導販売部門を中心に巡回調査した被害水路を含めた水田(約二〇㍎)、畑(約八〇㍎)等が、報告されました。

県常例検査の結果概要については、七月十一～十四日の四日間、二〇一七年三月末基準日で行われた検査結果の概要が報告されました。

第一号議案の六月決算承認の件については、事業利益△三、〇〇三千円の計画に対し△九、二八六千円で六、二八三千円の未達成となりました。事業利益は計画対比で、収益部門のうち共済三七四千円・貸付二八五千円等が超過達成、食肉一、一六六千円・惣菜一、六四〇千円・販売八五〇千円・購買五三三二千円・葬儀四五四千円・販売商品三九七千円等が未達成となりました。

第二号議案の第六十一回下郷農協まつり開催については、生産者と消費者として地域がこれからも元気で頑張る一つのきっかけとなるよう、二〇一七年十一月十二日(日)十時から下郷小学校グラウンドで開催する事を決定しました。取り組みの詳細については、祭実行委員会等を組織して進める事としました。

第三号議案の二〇一六年度決算監事監査指摘事項の回答については、五月十五～十七日の三日間行われた監事決算監査の指摘事項について回答内容を審議、一部回答内容を修正することで承認を受けました。

### 読者プレゼント

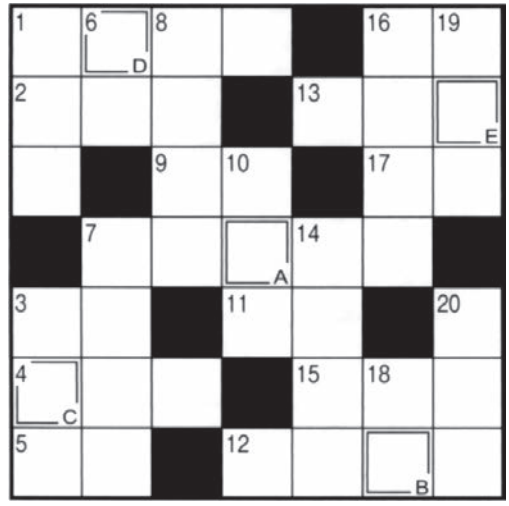
# パズル?

## 頭の体操



Q 二重マスの文字をA~Eの順に並べてできる言葉は何でしょうか?  
 タテのカギ

- 1 エジプトを流れる大河
- 3 品物をしまっておく建物
- 6 ピカソ、ゴッホ、ルノワールといえば
- 7 山伏が吹き鳴らす物
- 8 えびす様が持っている道具
- 10 手の指を握り込んで作ります
- 14 立ち上がった膝の——運動をした
- 16 水を入れて植物への水やりに使います
- 18 面取りをして落とす物
- 19 首の長い動物
- 20 芋がらともいう食材



### 先月号のこたえ



先月号のこたえ 「ホウセンカ」  
 当選者  
 埼玉県川口市 大嶋 ゆりか 様

### ヨコのカギ

- 1 陰暦9月の異称
- 2 船が停泊するときを下ろします
- 3 青く晴れ渡るもの
- 4 口に水を含んでガラガラガラ
- 5 出会った瞬間に落ちることも
- 7 リスが餌を詰め込むところ
- 9 漢字で書くと雑魚。取るに足りないものこと
- 11 量より重視されることもあります
- 12 角度を測るときに使います
- 13 一番近い所。——の駅まで徒歩3分だ
- 15 目で見える範囲のこと
- 16 ——外れの花が咲いた
- 17 ——を天に任せて勝負した

### 先月号のこたえ

3	9	4	8	5	6	7	2	1
2	7	5	4	1	9	6	3	8
6	8	1	7	3	2	5	9	4
9	6	8	2	7	4	③	1	5
5	2	3	6	8	1	9	4	7
1	4	⑦	5	9	3	8	6	2
8	3	9	1	2	7	4	5	6
4	5	2	3	6	8	1	7	9
7	1	6	9	4	5	2	8	3

先月号のこたえ ③+⑦=10  
 当選者  
 耶馬溪町金吉 水本 春子 様

解答は次号で

7		4						
				3	6			1
		1					2	
	5		1					3
		4				8		
2					9		6	
	1					4		
3			5	2				
					7		8	

《数独のルール》  
 ①空いているマスに、1から9までの数字のどれかを入れます。  
 ②タテ列(9列)、ヨコ列(9列)、太線で囲まれた3×3のブロック(それぞれ9マスあるブロックが9つ)のいずれにも1から9までの数字が1つずつ入ります。

Q 二重枠に入った数字の合計はいくつ?

## 数独 (すうどく)

## 応募方法

クイズの正解者の中から抽選でそれぞれ一名、下郷農協の商品をプレゼントいたします。ふるってご応募ください。

応募締切は二〇一七年九月二十日(必着)です。

- ① クイズのこたえ 

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

 (パズル? 頭の体操の場合) クイズのこたえ 数字の合計 (数独の場合)
- ② 住所・氏名・電話番号
- ③ 下郷農協へのご意見ご要望など以上をご記入の上、ハガキの方は〒八七一一〇四三一

大分県中津市耶馬溪町 大字大島 二一五一四  
 下郷農協 企画部 宛  
 Faxの方は  
 ○九九九一五六―二八八九

\*個人情報他者への開示は一切致しません  
 が当選者のみ紙面で公表させていただきます。

当選者には農協商品をお届けします。

一枚のハガキ・FAXで  
 どちらにも応募できます!!

下郷のHPの  
 応募フォーム  
 から応募  
 できます。

